

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月6日

上場会社名 図研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <http://www.elwsc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 江口 慎一
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-624-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	131	23.6	36		36		26	
30年3月期第1四半期	171	33.2	12		12		13	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	4.19	
30年3月期第1四半期	2.18	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	745	565	75.8	89.92
30年3月期	774	591	76.3	94.11

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 565百万円 30年3月期 591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,010	21.1	40	76.6	40	76.0	28	28.0	4.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	6,284,944 株	30年3月期	6,284,944 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	160 株	30年3月期	160 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,284,784 株	30年3月期1Q	6,284,784 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期損益計算書関係)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業の設備投資意欲や開発投資意欲は強いものの、原油価格の上昇に伴う原材料高や人件費の上昇等、投入コストの増大が景況感の重石となるとともに世界的な保護貿易主義拡大の懸念により景気回復ペースの鈍化が鮮明となりました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、高性能デバイス向けや車載機器向け半導体需要は旺盛であったものの、台頭した保護貿易主義の影響を見定めようと、一部企業において製品開発投資の見直しがなされたため、業況は「踊り場」の様相を呈すこととなりました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェア事業の単一セグメントでの事業形態として、この事業に経営資源を集中的に投下するとともに、売上規模があっても低収益なビジネスからは撤退を進める等経営基盤の強化に努めております。この事業ポートフォリオの転換により、現時点では未だ売上高の増加には結びついていませんが、収益面では安定した成長を見せており、利益率の高い「高収益」型の事業モデルへの転換が進みつつあります。

さらに、通信ミドルウェア事業の伸ばすべき分野として需要拡大が期待できるEthernetプロトコル製品・映像ストリーミング製品・FAプロトコル製品・FAアプリケーションパッケージ製品を選択し、それぞれにおいて新たな製品・技術やサービスの開発と積極的な販売活動を推進しております

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1億31百万円(前年同四半期比23.6%減少)となりました。また損益面では、営業損失は36百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)、経常損失は36百万円(前年同四半期は経常損失12百万円)、四半期純損失は26百万円(前年同四半期は四半期純損失13百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、7億45百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加82百万円、前払費用の増加27百万円、繰延税金資産の増加10百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億54百万円等によるものであります。

負債の部は、1億80百万円となり、前事業年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に、前受収益の増加29百万円があったものの、買掛金の減少19百万円、賞与引当金の減少18百万円等によるものであります。

純資産の部は、5億65百万円となり、前事業年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少26百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月7日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,833	463,945
受取手形及び売掛金	279,845	125,035
商品及び製品	4,839	4,039
仕掛品	2,787	8,813
原材料	560	548
前払費用	36,197	63,233
その他	1,828	2,762
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	707,792	668,278
固定資産		
有形固定資産	7,654	8,434
無形固定資産	30,436	29,258
投資その他の資産		
投資有価証券	3,500	3,500
長期前払費用	480	—
繰延税金資産	21,809	32,729
その他	5,087	5,087
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	29,027	39,467
固定資産合計	67,117	77,159
資産合計	774,909	745,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,682	11,557
未払法人税等	11,950	3,228
前受収益	53,944	83,240
賞与引当金	35,944	17,887
製品保証引当金	7,940	7,022
その他	29,933	44,392
流動負債合計	170,396	167,328
固定負債		
長期前受収益	1,776	1,671
退職給付引当金	2,729	2,729
その他	8,552	8,584
固定負債合計	13,058	12,985
負債合計	183,454	180,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	135,998	135,998
利益剰余金	△44,452	△70,783
自己株式	△91	△91
株主資本合計	591,454	565,124
純資産合計	591,454	565,124
負債純資産合計	774,909	745,438

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）
売上高	※ 171,593	※ 131,015
売上原価	82,292	65,493
売上総利益	89,300	65,522
販売費及び一般管理費	102,059	101,891
営業損失（△）	△12,758	△36,369
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	88	67
為替差益	—	62
その他	2	—
営業外収益合計	90	129
営業外費用		
支払利息	14	28
為替差損	10	—
営業外費用合計	24	28
経常損失（△）	△12,693	△36,268
特別損失		
固定資産除却損	58	—
特別損失合計	58	—
税引前四半期純損失（△）	△12,751	△36,268
法人税、住民税及び事業税	984	982
法人税等調整額	△12	△10,920
法人税等合計	972	△9,937
四半期純損失（△）	△13,724	△26,330

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 売上高の季節的変動

前第1四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

当社では、製品の出荷やお客様の検収が9月及び3月に集中することから、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高及び営業利益の割合が高くなる傾向があり、四半期会計期間毎の業績に季節的変動があります。